

平田愛依さんと私
きちんと出来る人

Bグループ
キムデギョン

1. 第一印象

私は愛依さんとさんぼに行って笑顔は素敵な人だと思いました。

笑顔は優しさがあるからこそ出るものだと私は思います。その優しさは相手のことを本当に思う時や配慮する時出るものです。そしてその優しさは笑顔に変わって、はじめて自分から相手のところに伝わるものだと思います。

私たちBグループはボウリング場に行きました。学校前であってボウリング場に行く道は楽しかったです。なぜなら始めて会った人なのに外国人である私を配慮して色々話をかけてくれたからです。

ボウリング場に行った時はただボウリングをするわけではなくていろんな話をしながらボウリングをしました。外国人である私の話もちょうど聞いてくれて、何か知らないことがあっても親切に教えてくれました。その後、みんな一緒に昼ごはんを食べました。

このようにただ授業だと思ってする行動ではなく、相手のことをちゃんと思ってくれる人が愛依さんです。何をしてもその優しさが笑顔に出てとてもいいと思いました。

2. 話題

(将来の夢である医学部とサークルの陸上部について)

この話題を選んだのは今愛依がしている一番興味深いものであるからです。将来の夢である医学部とサークルの陸上部は今愛依の大学生活のほとんどを示すとみても無理のないはずだからです。そのような重要なことで愛依をもっと知れると思いました。

3. 話し合いの結果

① 6月18日の話し合い

陸上部の話をしました。陸上部を選んだ理由は、走るのが大好きだからだそうです。高校ではテニスをしていて愛依さんは続けることなく、サークルを変えました。それは先程述べたように走るのが大好きである以外にもあります。それはまず飲み会が少ないからです。愛依さんは友達同士の飲み会（ジュース）があっても今すべきことがあると断ります。それは誰にでも優しくすることと違って、はっきり今やるべきことが頭にあり、優先順位をきちんとわかっているからです。「みんながやるから」という考えはもちろん自分の所属感を上げるけど、そういう考えでは自分のプライベートの時間がなくなってしまう。彼女はそれをきちんと区別しているんでしょう。

そして、ちょうど陸上大会をしたばかりで、陸上部でどんなことを感じ、どんなことをするのかを聞きました。その大会でなんと三位だったそうで愛依は何をしたか聞きました。そしたら一年生だから試合には出てないと答えました。先輩たちのサポートをやったそうです。そのサポートには何かあるのか聞くとお水やビデオの録画でした。一年生はどこに行っても大変そうでした。

しかし、愛依は大変ではなく楽しかったそうです。一年生が先輩のために様々なことをサポートするのは当たり前ですが、それについての一言の文句も言わず、むしろ楽しめるのがすごいと思いました。

② 6月25日の話し合い

陸上部で何をするのかについて話しました。愛依は先輩のアドバイスで中距離を選びました。その理由は短距離と長距離の中で一番あつてるのをまだわからないからそうです。練習自体はそんなに厳しくないそうでした。けれども部活ではないときも家の近くで自分で練習をしていました。この話を聞いて何でも頑張るタイプだと思うことになりました。

愛依が一年生だから先輩たちの不合理的なことをされるかと思いましたが、そのようなことはないようです。いつも優しくレポートも手伝うそうです。そして自分でその日の健康やコンディションをチェックすることもあって、もしその日の具合が良くなかったら練習や試合をしなくてもいいそうです。

もちろん全部ではないけど、一年生は部活できついことをされるというイメージがあったんですがそうではなくて安心しました。そして愛依がその部活を本当に好きだとはっきり感じれました。だからこそ情熱を持ってそんなに頑張れるんでしょう。

③ 7月9日の話し合い

最後に将来について聞きました。愛依は眼科の医者をおこがれていました。愛依が昔目が悪くなって眼科に行った事があったけど、そこでその医者さんを会ったそうです。その医者さんは患者に上からの視線ではなく、本当に優しくあつたそうです。そしてその姿がとてもかっこよくてあこがれることになったそうです。無論、だから眼科の医者になるということではなく、そのような良い医者になるということでした。そして部活をはじめたのも健康に良くて、将来医者になったら体力がなければいけないからという理由だと言いました。

この日に愛依の将来について思う価値観を良く見れました。まだ若いのにこんな立派な考えをするのがえらいと思いました。

4. まとめ

愛依にとっての医学部と陸上部がどんな存在でどんな考え方なのか。医者という職業はすごくきつい職業です。集中力が求められるこの職業のために一生懸命勉強して合格した学生たちはまた勉強をします。医者になる前も医者になってからもそれに耐えられる体力を求められるため、様々な人々が耐えられずらくだつします。その故、愛依さんは陸上部を選んだということです。自分が好きなことをやりながら将来のための準備もできることはとても良いと私は思います。その陸上部に卒業して立派な医者になった先輩たちが来て、様々なアドバイスをくれるのもさらに良いと思われまふ。

愛依と話してみても、私はこういう風に思いました。愛依さんは今24歳になった私から見ても、若いながら将来のために一生懸命努力しているきちんと出来る人です。しかし、まだ一年生なのにそんなに勉強と運動ばかりして滅多に遊ぶ時間がないのはかわいそうです。まだまだ一年生だからもうちょっとキャンパスライフを楽しんでもらいたいです。

5. クラスについての感想

① クラスで学んだこと

私は日本の文化、日本の人の考え方を学ぶために日本に留学しています。このクラスで私は日本人がどんな考えをするのか、人に対する配慮は何なのかについて学びました。これは普通の授業や本では学べないものです。しかし、実際こういう風に日本の学生と深いところまで話し合えて私自身の勉強になりました。もしこのクラスに参加せずに、ただの留学をしたら絶対学べないと思います。このチャンスを作ってくれた先生と自分の深いところまで虚心坦懐に話し合ったクラスメートにありがとうございます。ありがとうございました。

② クラスについて

難しかった点はありませんでした。改善してほしい点はありませんでした。すべてが本当にとってもよかったです。良かった点は、クラスメートとお互いについてレポートを書きなさいという課題です。正直に、それがなかったらそこまで深い話にはできないと思います。それがきっかけになってお互いについて信頼ができたそうです。